備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要

事業開始年度			平成２１年度	根拠法令・例規等	岡山県（子育ち親育ち推進事業）地域の子育て応援団事業委託要綱
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化とひとが輝くまちづくり	問合先 担当課（室）	生涯学習課生涯学習係
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり	職・氏名	係長　波多野靖成
	小項目	施　策	01 家庭教育	電　話	０８６９－６４－１８４１
事務事業名			01 家庭教育支援事業	このシート作成に要した時間	5.0 時間

事業の目的

対　象（誰・何に対して）	市内で子育てをしている保護者
目　的（何のために）	今日の地域の子育てに関する課題を解決するために学習・交流機会の提供等の取組を実施し、家庭の教育力の向上を図る
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	子育て支援を行うNPO団体等の活動が広がることを支援し、行政と協働で地域ぐるみで子どもを育む基盤づくりをする

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
家庭教育推進事業	子育て支援を行うＮＰＯ団体等と行政が協働し、子どもの健全育成や家庭教育支援に関する学び・交流・情報の提供等を行う	◎

決算額

事業費等		単位	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績	
事業費	直接事業費	千円						
	必要人員 人件費				0.20人	1,549	0.16人	1,213
	事業費計					1,549		1,213
財源	国県支出金	千円						
	受益者負担							
	繰入金							
	市債							
	その他（　）							
	一般財源					1,549		1,213
受益者負担比率		%						

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標		説明	支援事業参加者数		
	結果指標量	事業		564	105
	対前年比	%	－	－	18.6%
	活動コスト	円		1,549,000	1,213,000
	単位当たりコスト		#DIV/0!	2,746	11,552

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
地域の子育て応援団事業参加者数	目標値（A）		500	500	500
	実績値（B）		564	105	到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	112.80%	21.00%	500

成果指標設定の考え方・式や説明

「地域の子育て応援事業」は、子育て支援をおこなっているＮＰＯの３団体と、小規模の「お父さんの子育て応援フォーラム」や地域を限定して実施した子ども向けイベントへの参加者数

事務事業の評価

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性

- ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ☐ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**C**

効率性の評価

コスト手段

- ☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☐ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☑ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**B**

有効性の評価

目的達成度・市民参画度

- ☐ 成果指標の設定は適切である
- ☑ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- ☐ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☑ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**B**

進行年度（H22年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：岡山県委託事業「地域の子育て応援団事業」に応募して子育て支援をしているＮＰＯ団体等と子育て支援係を交えて取り組むこととする

総合評価

子育て支援を行うＮＰＯ団体等と行政が協働したことにより、学習の場や、世代間の交流の場を設けることができ、地域や家庭での子育て環境を考慮する機会をもった

評価区分 <A～E>：**B**

平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

取組目標：岡山県の委託事業で、平成２３年度は予算はないと見込まれるため、子育て支援を行うNPO団体等が地域の子育て応援団となるよう人材の育成を図る